



清澄

立春大吉

清澄寺十四代別當 金子厚

新たなる春、『清澄誌』々友の皆様には宜しき年の明けを、お迎えになられた事とお慶び申しあげます。令和四年、壬寅の歳、あるものの本に、十干のうち九番目にあたる「壬」は「妊」につながり植物の種子が生まれた状態を指し、又「寅」は土中の種が生育し、いよいよ芽生えようとする状態を表すという。長く厳しい冬を乗り越えた先には生命力に満ち溢れた春が待っている。と;正に今、清澄寺は大報恩の年をお迎え致しました。

旭が森に日蓮大聖人様の銅像が建立されて百年、その慶讃事業を進めて参りましたが、自然災害等に遭い工事は遅れましたが、漸く完成を見るに到りました。そして本年四月二十七日(水)、第七七〇回、立教開宗会に併せて旭が森銅像建立百年の慶讃事業円成の儀式を執り行う予定です。コロナ禍でどの様に勤めてよいか、当山役員、関係各聖と協議を進めておりますが、二年近くに及ぶ新型コロナウイルス等の疫病はどんどんと、とめどもなく広がり、目に見えない敵との闘いが今も尚終息の目途が立たない現状です。為に、一昨年(令和二年)は、正月から暮れまで、毎日の様に全国から宗祖ご降誕八百年団參の申込みが御座居ましたが、全て取消しとなり全くの無収入、工事費も支払いが不安となり、又当山山務員のお給料も十分支給出来ずの日常となりました。山務職員の皆さんには、この試練に耐えてもらい凌ぎ通してもらいましたが、これではいけないと、待つことではなく、コロナ禍の中ではあるけれどもこちらから全国の御縁を頂いております皆様に厚かましくも勧募のお願いに出掛けでゆかなければと、最善の結果を求め、どの様に行うか、執事方と計画を立てたのです。そして、今日まで国内諸方を巡り歩かせて頂きました。ご連絡もせず突然勧募のお願いに伺いご迷惑をお掛けした事と存じます。この事については、当山歴代別當であられたお方様が曾て『寺院や檀信徒のお宅を訪問する時、電話等で何時何時お邪魔して宜しいかとお話しすれば、余程のことではない限り、お断りはなくその日時には必ず空けて待つていて下さいよと言いつける事になる。それは命令を下すことで大変宜しくない。とのお考えで直接指示があり、それが当山の一つの教訓となつて居り、此の度もその慣習に従つた次第。早朝にお伺いしたお寺様にはご迷惑だった事とどうぞ悪しからずお許しを願う次第です。その様

令和4年1・2月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1
© 清澄寺
TEL 04(7094) 0525 番
FAX 04(7094) 0527 番
振替 00140-5-55501
印刷所
天津(有)ブラザーア印刷
送料共1部100円

お知らせ

3月

18~24日
彼岸会

4月

27日 13:00
立教開宗会並
銅像建立100年
慶讃大法要

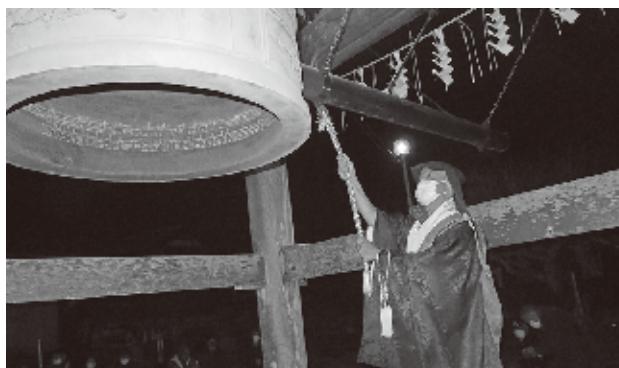
19:00

報恩唱題行
28日 4:50
開宗暁天法要

な事で私共の勝手な行動のお陰で多くの御縁を頂きました御寺院様、又お伺い出来ませんでしたご住職様からも、そして檀信徒の皆々様からお心にかけて下さり、沢山の淨財ご寄付を賜りました。誠に有難く感謝に堪えません。

陰に陽にと勧募にお力添え下された皆様は、この清澄寺の事を良く理解しておられる各聖各位で御座居ましよう。清澄寺は全国のどの法縁にも属しない大本山です。要するに日蓮宗皆様のお寺、宗門のお寺なのです。私淑する先輩ご上人のお言葉です。『清澄寺は立教開宗の原点、日蓮宗の原点である』と今、我々が生々世々に法華經の教えの元、為法為宗、布教伝導に活動し生かされて生きてこられたことは千光山金剛寶院清澄寺があつたからこそでございましょう。我が宗門が發展隆昌なれば、清澄寺も大いに榮え、清澄寺が盛んなければ宗門が大きく發展、強い日蓮宗になるのです。『信仰は莊嚴からと申しますが、清澄山一帯全域がその莊嚴、雄大、実に秀麗であり、この大自然が清澄寺の莊嚴を醸し出しているのです。ですから当山の盛んなるは、素晴らしい七堂伽藍の建立より全国の寺院・教会・結社の教師各聖、檀信徒の皆々様がお一人でも多く、宗門の原点、清澄寺に報恩感謝の至誠をもつて、正に信仰の体を表わして頂きたいと、宗祖ご降誕八百年、当山旭が森の丘上に立たれ、太平洋上より朝日さし出づる曉天法要に是非是非お参り下さいますように、只管願つて止みません。山内役職員一同、心から『微笑みと合掌』をもつてお待ち申し上げて居ります。壬寅の歳、初春の朝、清澄より皆様のご多幸とお健やかに日々お過ごしになられますようお祈り申し上げ、お願ひごとばかりで恐縮ですが、ご挨拶とさせて頂きります。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。恐惶謹言

合掌



11時40分、鐘楼堂にて金子別當の挨拶があり、第一鐘が打ち鳴らされました。

続いて、長谷川孝夫鴨川市長、川崎鴨川市消防団長、参籠者、一般の方々と続き、それぞれの煩惱を打ち消す様に、心を込めて椎鐘されおりました。



正月各種行事

元旦祝祷会並 一番祈祷会並

新年を迎え、仏祖三宝諸天善神に新しい一年の安泰を祈願させていただぐのが、元旦祝祷会です。

「元旦祝祷会」と「一番祈祷」が合同で、金子別當

清澄寺では、1日から7日まで新春特別祈祷を行っております。本年は6日に大雪に見舞われましたが、比較的晴天に恵まれ、大勢の方にご参詣くださいり、境内には読經の声と木劍の妙音が響きわたりました。

を導師に厳修されました。コロナウイルス感染対策として信育道場で御祈祷を行いました。普段は宝物館に安置しております、虚空蔵菩薩を移動し道場御宝前に安置をいたしました。新しい年の御利益を頂こうと、堂内には参籠者と一番祈祷申込者で満堂になり、全国の信徒様から申し込まれたお札500体が御宝前に奉安され、令和四年の年中安泰・年中無難を祈り、宮崎執事長修法導師による祈願の読み上げがなされました。

暁天法要

清澄の旭が森は、離島を除くと日本で一番早く日の出が昇る場所でもあります。

冷たい風に耐えながら登り来る旭日に向かい、南無妙法蓮華經のお題目を唱え、太鼓が打ち鳴らされ御来光をお迎え致しました。

本年は、多少雲がありましたが、時間通りのすばらしい御来光を拝することができました。



本堂では、早朝より修法師による厄除け祈願や節分舟をお求めになる檀信徒の方々が参詣され、修法木剣の音が響き渡りました。

コロナ禍の為、行列や芸能ショーは中止になりましたが、午前11時より、金子

2月3日、清澄寺恒例の節分追儺会が奉行されました。

本堂では、早朝より修法師による厄除け祈願や節分舟をお求めになる檀信徒の方々が参詣され、修法木剣の音が響き渡りました。

コロナ禍の為、行列や芸能ショーは中止になりましたが、午前11時より、金子

節

分

会



旭が森境内整備スロープ工事進捗状況

(旭が森に続く石畳脇も車椅子通行可能に整備中)(3月完成予定)



II 計報

第10代別當 奥邨日鳳猊下御遷化

当山の第10代別當であります
した、大阪市此花区 正蓮寺
住職 大僧正 奥邨正寛
端正院日鳳上人
は、令和4年1月26日世寿90
歳をもつて御遷化なされました。

平成5年12月～平成8年4月
まで日蓮宗宗務総長に就任さ
れ、平成12年2月5日、時の
管長 藤井日光猊下より御下
命を受け当山別當就任。

在任中は、立教開宗会75
0年慶讃に当たり、慶讃団參を
全国各地より連日お迎えし、
法要導師の委嘱状を手渡され
ておられました。

御正當には3千名を超える
参列者に、仮設テントベンチ
に入りきれない方が続出する
状況までおこりました。

平成15年2月4日に任期を
迎えご退任なされました。

ご退任後も、宗内では日蓮
宗宗務顧問、日蓮宗保育連盟
理事長他、また、地元地域で
は大阪市此花区防犯協会会

長、此花区青少年育成推進会
議会長など歴任されました。

更には、永年に渡り保護司
をされており、その功績を
もって平成17年には 叙勲
瑞寶雙光章をお受けになられ
ました。

奥邨日鳳猊下 端正院日鳳上
人の遺徳を偲び御宝前にご回向
させていただきました。



新年明けましておめでと
うございます
本年も宜しくお願ひ申し
上げます。
コロナ禍でも、参詣者の
方に安全にご参拝が出来る
よう、本年は7日まで、新
春特別祈祷を信育道場にて
行いました。年末、年始と
感染者が減少傾向でしたが、
7日以降オミクロン株が感
染拡大し、現在ピークを迎
えております。減少傾向で
したので、通常通りの正月
準備をする予定でしたがや
はりまだまだ油断ができない
い状況ではあります。
元旦は、少し雲もあります
したが、晴らしい御来光を
拝む事が出来ました。
本年は、銅像建立100
年スロープ落慶並ご正當法
要が厳修されます。
多くの方のご参詣をお待ち
しております。
皆様とともにありがたい
お題目を唱えし、少しでも
早い終息を願い、未来への
希望に満ちた年に変えてい
きましょう。立春も過ぎ、
春の足音が聞こえてきてお
りますが、寒い日が続きま
す。
どうぞお身体御自愛下さい。

計報室